



vol. 48 「関心」は高まった…次は「実践」だ!
「第3次沖縄県食育推進計画」がスタート!



◎ 第3次沖縄県食育推進計画策定の目的は?

平成25年度から「第2次沖縄県食育推進計画」に基づき、食育に関する様々な施策に取り組んできた結果、一定の成果が現れています。

しかし、依然として生活習慣病の予防及び改善につながる食生活の実践の面で課題が見受けられ、また、子どもの貧困や、伝統的な食文化が失われつつあることなど新たな課題があります。

この度、沖縄県の特性を活かした食育を、総合的かつ計画的に一層推進するための新たな指針として、「第3次沖縄県食育推進計画」を策定しました。計画は県ホームページで公開しています。



第3次沖縄県食育推進計画

◎ 第3次計画における重点課題

今後5年間で特に取り組むべき4つの重点課題を設定しています。

- (1) 生活習慣病の予防及び改善につながる食育の推進
- (2) 子どもの発達段階に応じた食育の推進 **変更**
- (3) 地産地消等の推進による食育の推進
- (4) 食文化の普及・継承による食育の推進 **新設**



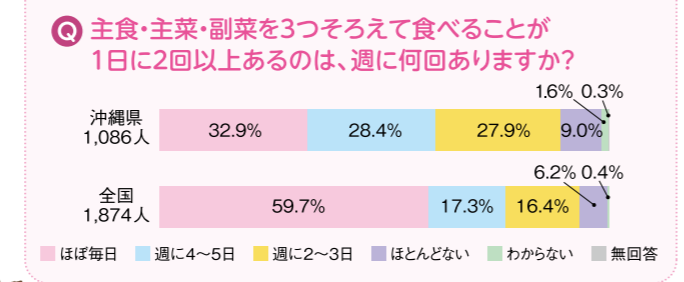
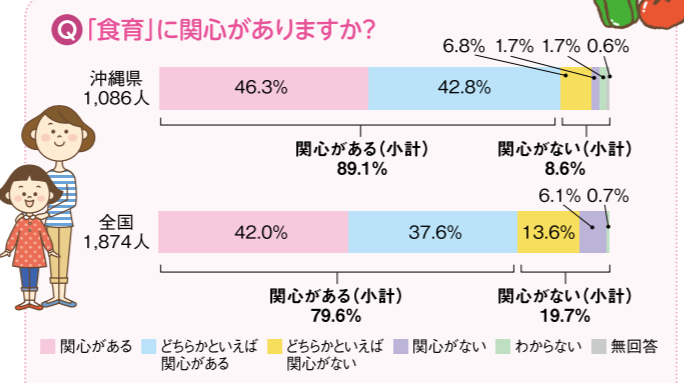
社会全体による食育で、豊かな「食」を未来に残す

県民一人ひとりが食育に取り組むか否かによって、次世代の食習慣や食料自給率、地域経済等様々な事柄に影響を及ぼします。豊かな「食」を未来に残すため、県内の食育実践の輪を広げましょう!



◎ 高まる「食育」への関心! 実践に課題

食育基本法が制定されて10年余が経過し、食育に関心を示す県民の割合は約9割まで高まりました。全国の結果は約8割で、沖縄県のほうが全国よりも高い状況です。しかし、必ずしも栄養バランスに配慮した食生活の実践などには結び付いていません。



[出典] 沖縄県:平成29年度 食育に関する県民意識調査報告書
全 国:平成28年度 食育に関する意識調査報告書



毎年4月2日は国連が定めた
世界自閉症啓発デー

毎年4/2~4/8は、発達障害啓発週間

① 世界自閉症啓発デーってどんな日?

自閉症のことを知るための日をつくろうと、世界の国の代表が国連の会議で毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」に決めました。また、日本では、毎年4月2日から8日までを「発達障害啓発週間」とし、いやし・希望・おだやかさを表す「青」をシンボルカラーにして、世界各地でイベントやライトアップなどが行われるようになりました。



イベントの様子



ライトアップの様子

③ 発達障害の診断を受けたり、子どもの発達が気になる場合、どこへ相談すればいいの?



まずは身近な、お住まいの市町村の担当窓口で相談してください。また、ライフステージによって相談機関、支援機関が異なる場合がありますので、沖縄県発達障害者支援センター「がじゅま〜る」のホームページに掲載の「発達障がい児者支援に関わる相談・支援機関リスト」をご覧ください。

沖縄県発達障害者支援センター
「がじゅま〜る」ホームページ
<http://www.okinawa-gajyumar.jp/>

④ 「新サポートノートえいぶる」をご存知ですか?

県では、発達障害や、発達の気になる子について、一貫したサポートが受けやすくなるよう「新サポートノートえいぶる」というファイルを平成28年9月に発行しました。これは、ご本人のプロフィールや支援の経過などの記録を一冊にまとめ、必要な情報をつづるオリジナルファイルです。

このファイルに成長の経過や支援内容、医療機関の記録などをまとめておけば、担当者が変わったり、相談先が変わっても、子どものことが伝えやすくなり、引継ぎや話し合いをスムーズに行うことができます。



- ★主に市町村の障害福祉担当課や母子保健担当課、教育委員会窓口で、無料で配布しています。
- ★県障害福祉課のホームページからもダウンロードできます。

② 発達障害ってどんなもの?

発達障害は、脳の発達の仕方の違いから「他人の気持ちや感情を理解すること」「言葉を適切に使うこと」「新しいことを学習すること」などが苦手で、一般的な「常識」と思われることを身につけることも苦手です。このため、真面目に取り組んでいても、誤解されることがありますが、発達障害がある人たちは、周囲の愛情と支援によって大きく育つことができます。

4月2日に青色のものを身につけて、啓発デーを盛り上げよう! / 関連イベント情報は、「情報ひろば」をご覧ください。

問い合わせ 県健康長寿課 電話:098-866-2209 FAX:098-866-2289

広告

問い合わせ 県障害福祉課 電話:098-866-2190 FAX:098-866-6916